農委広報





令和6年2月24日、「大山新酒・酒蔵まつり」が4年ぶりに開催されました。酒造りの町として栄えてきた大山地区にある4つの酒蔵をめぐって搾りたての新酒を味わえる、日本酒好きにはたまらないイベントです。今年は「大山酒蔵ふぇす in 東京」が同日開催され、東京でも多くの日本酒ファンが大山地区の新酒を楽しみました。

酒米の消費により米作りを支え、酒造りを通して地域の経済や文化を守るという、古くから「酒蔵」が担ってきた役割は、地域のサステナビリティそのものです。食材・習慣・伝統・歴史などに育まれた食を楽しみながら旅をする「ガストロノミーツーリズム」などの取り組みを通して、日本酒や酒蔵の魅力が今後ますます広がっていくことを願っています。 (荻原優太農業委員)

みんなで「地域計画

「地域計画」は、10年後の将来、地域の農地を「いつ」「誰が」「どの農地を」耕作す るのか、農業者や地域のみなさんの話合いによって決める計画です。鶴岡市では、 令和7年3月の策定を目指して、地域ごとに話合いを行っています。



「地域計画」ってどんなもの?

地域の 「農業の在り方」の計画



目標地図

農業を担う者ごとに利用する農地を示した地図

10年後の地域農業の設計図

どうして「地域計画」を作るの?

農業者が減少していることから、今後、耕作されない農地の増加が心配されます。そのため、 地域の農地を次世代に残し、地域農業を維持していくことが重要です。

●計画がないと・・・

- 農地が適切に管理されず、条件の悪い農地が 増えるおそれがあります。
- ・遊休農地が増え、鳥獣被害の拡大が懸念され ます。

○計画があると・・・

- ・意欲ある農家に農地をまとめるなど、地域の 農地の有効活用に繋がります。
- スムーズな規模拡大や、農地の適切な保全に 役立ちます。

補助金等の支援措置はあるの?

この計画に担う者として位置付けられた農業者は、補助金等の支援措置を受けやすくなるなど のメリットがあります。

「機構集積協力金」を活用しよう

農地中間管理機構に農地を貸し付けた場合、**地域に対して下記の協力金が交付**されます(交付 には、地域の中で話し合いを行い一定割合以上の農地を貸し付けるなどの要件を満たす必要が あります)。

地域集積協力金

農地中間管理機構に農地を貸し付け、集積・集約化にご協力いた だいた地域に市から交付されます。

集約化奨励金

同じ耕作者による団地面積の増加割合に応じて市から交付され ます。

※事業の詳細は、農業委員会事務局または地域庁舎の農業委員会各分室までお問い合わせください。

計画策定までの流れ

● 農業者への意向調査(アンケート) ⇒ 目標地図の素案作成



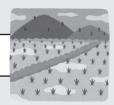
2 10年後、誰が農地を耕作するか話合い



地域の農地を できるだけ まとめたい

地域全体で 鳥獣害対策に 取り組みたい 農地中間管理機構を 使って農地をまとめたら 「機構集積協力金」を もらえるかも?

❸ 地域計画・目標地図の策定



地域の話合いに参加している委員の話



田澤 幸弘 農業委員

話合いの参加者を見ると、 経営者だけが参加する地域が ほとんどのようです。「地域計 画」では認定農業者等に加え、 中小・家族経営や兼業農家な ど、多様な経営体も農業を担 う者となります。これから就農

を考えている女性や若者も含め、様々な立場の 意見が地域の実情に合った「地域計画」の土 台となりますので、多くの方の参加をお待ちし ています。

ベテラン農家の方から、10 年後に農業を続けているかわ からないため、話合いへの積 極的な参加を遠慮してしまう、 という声を聞きました。現役世 代が、地域農業をどのように 次世代に繋いでいくかも「地



原田 政幸 農業委員

域計画」の重要なテーマの一つです。経験が ある立場だからこそ言える意見もあると思いま すので、ぜひ一緒に地域農業の将来を考えて いきましょう。

農業を考えよう

鶴岡農業者わくわくワークショップを開催 ~

じゃんけんも盛り上がります

就農者、 農業者と若手農業者 ワークショップとしての開 ら参加いただきました。 催でしたが、今回は農業委 クショップ」が開催されま 鶴岡農業者わくわく た。昨年は女性農業者の 広い世代・立場の方々か ている方、 ・在学生)、 一ホテル鶴岡を会場に 推進委員はじめ、 和6年2月21日、 SEADS卒業 農業関係者等、 就農を検討 (新規 女性 · ワー 女性委員の会のメン

業で年商一億を! 組み合わせた体験型のイベ 目標などを語り合いました。 テーマにアイディアや夢、 くわくする鶴岡の農業」を が中心となって進行し、 ンド化で高付加価値の野菜 人気No.1職業にしたい」「農 ントをやりたい」「農業を (ヨガ、ダイエット等) ープごとに「10年後のわ その中で、「農業と健康 つくりたい」「夢のある ·」「ブラ を グ

> 農業と仲間づくりを大切に 意見が出されました。 したい」等、 自由で様々な

バ

うか。 となったのではないでしょ クショップが夢や目標への きな交流が図れたのでは、 13 13 ことをルールに、 かと思います。 を出し合うことで、 他人の意見を否定しな 前進するきっかけ 音見や想 このワー 前 向

(荻原優太農業委員

た。

年齢差があっても雰

広い世代が集まりまし

開催だったこともあり、 担い手専門委員会の共同

若者からベテランまで幅

らだと思います。「農業してークショップだったかっテーマにした前向きない

たのは、「わくわく」を 囲気良く意見を出し合え

は課題が多くて大変」と

り合っていました。地域いう固定観念に縛られる

や営農形態、年齢が異な

普段会う機会がな





司会を務めて感じたこ 今回は女性委員の会と

伊藤由紀子農業委員齋藤潤子推進委員・

ひ懇親会も併せて企

画

方もいるようで、次はまだまだ語り足りな

なったと思います。非常に有意義な時

間

かったという声も多く、者同士で交流できて良

0...0...0...0...0...0...0...0...0...0...0...0



講演する鈴木副大臣

佐藤圭介推進委員

<鶴岡市認定農業者会議研修>

メ政策と食の将来について 鈴木農林水産副大臣に学

鶴岡市認定農業者会議では、毎年研修会を開催し、最新の農業情勢 や特徴的な取組みなどを学んでいます。今年度は、農林水産副大臣を 務める鈴木憲和氏を招き、「コメ政策の未来と日本の食の可能性」をテ マに講演していただきました。

点から、踏み込んだ話を現役副大臣ならでは費拡大の反転攻勢の可だきました。その上で

可

の能 伺視性消た

大臣ならでは

踏み込んだ話

を

その

要因を詳しく説明

でいい

の需要量の推移に

例を交えながら説明いただ性等について、具体的な事はみ、輸出米の増加の可能相み、輸出米の増加の可能 大とは高 7 き非常に うことができました。 ると感じています。 前 深が 額 は、 勢の変化 ましたが、 他地域 叮 13 j. 勉強になりました。 能性 玉 な 産米を輸出 b, ル により、 が広 が高 の農業者と親 円 輸 はいと聞い に安等の国 に安等の国 出量 安 意義な時

今回 しました。 定農業者を含む75 の講 の研修会が開催され、 6 演では、 3 月 9 市認定農業 人が ル

農地の違反転用をしていませんか?

農地を農地以外として使用(農地転用)する場合は、あらかじめ農業委員会の許可が必要 です。また、工事用の駐車場や資材置場等として一時的に利用する場合も許可が必要です。



住宅を建てるとき



農業用施設を建てるとき



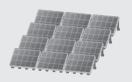
駐車場にするとき



建設残土の捨て場にするとき



資材置き場にするとき



ソーラーパネルを設置するとき

違反転用をすると、**3年以下の懲役**または**300万円以下の罰金**が科せられる場合があり ますので、必ず着工前に農業委員会事務局・各分室へ相談しましょう。

農地は地域の財産です。適正にかつ有効に活用しましょう。

米 き 2.0 2.4 ha ha います。 ながら、 しまし 全集連の店舗で10年ほど のオ これから色々勉強しな た。 自前 大豆 1.5 雪若丸 つや姫 身内の農作業手伝 4年前に新規就農 3 まだまだ新米な 他の主要機械は の機械はトラク ha 0.6 2.0 & ha ha ニライスセン 夕 を栽培して を兼務し はえぬ 料用

加入し

八色木

飯鉢 龍さん (30歳)

藤島

魅力を感じました。

受け取る年金は公的年金等

実に積み立てられるところに 料の支援を受けながら確

非農家からの転

できればと思ってい

要な資産として大切に運用 除の対象になることから、







かけ イスでした。 告のお陰で、 への安心材料になります 加入しておくことが将来 最適化推進委員のアド 農業者年金加 認定農業者と青色申 地 元 国から保険 若いうちに 0 農地利 入のき

委員のアドバ イス

がら経験を積んで いそうです。 きた

今年もいい米を作るぞ

に期待しています。

(井上克浩推進委員

農業も子育ても楽しく

米をメインに頑張ってます

行動範 た。 は自転車に乗れるようになり に振り回される子育て真った 近は5歳の長男と4歳の長女 行ったりしています。 るようで一 だ中の毎日です。 な若手農家の飯鉢さんの今後 農業も子育ても楽しむ貴重 仕込んでいるつもりはな り回していましたが 頃は趣味で水上バ 囲 が広がってきまし 農作業に興味があ 緒に田 子どもたち 0 水見に

農林水産省が検証した「食料の安定供 給に関するリスク検証(2022)」の、国内 におけるリスク一覧10項目には、労働力・ 後継者不足、荒廃農地・農地の転用、異常 気象等のリスクが挙げられている。今、 私たちが直面している課題である。改め て、私たち農業委員や農地利用最適化推 進委員が携わる地域計画の重要性を認識 せざるを得ない。次世代のために、課題 解決に向けて力を合わせて取り組んでい きたい。 (佐藤宣夫農業委員)

おすすめ

- 💵 35 歳未満は 1 万円から加入可能
- 2 認定・青申で国庫補助による手厚い支援
- 🔞 保険料控除など税制面での優遇措置○

※加入には一定の要件を満たす必要があります。 ※詳細はお近くの JA 各支所、

農業委員会事務局・各分室まで!

鶴岡市農業委員会事務局

〒999-7696 山形県鶴岡市藤島字笹花25(鶴岡市藤島庁舎内) 264-5868(直) FAX.64-5846 ○鶴岡分室 35-1297 ○羽黒分室 62-2527 ○櫛引分室 57-2114 ○朝日分室 53-2117 ○温海分室 43-4616 http://www.city.tsuruoka.lg.jp/sangyo/nougyouiinaki/index.html 発行/年3回 (1-4-9月)



バック ナンバーは こちらから